

名古屋市立名古屋商業高等学校

商品開発研究班

葦から“Zoo”

葦は近年、立ち枯れたまま放置されていることが多い。その葦を、紙→糸→布→製品化することに加え地域への啓蒙活動を行い、有効利用を促すことで自然環境保全に繋げる。製品化はされたが、コスト面など課題はまだ残されている。



岐阜県立加茂農林高等学校

林業工学科 環境班

ポップコーンで日本を爆発!! ~耕作放棄地の活用方法の提案~

日本に多く存在する耕作放棄地問題を解決するべく、ポップコーン用の豆を栽培して耕作放棄地を蘇らせる。栽培された国産、無農薬、高品質の豆は海外産の豆の数倍の値段がついた。これからは規模を拡大していくつもりだ。

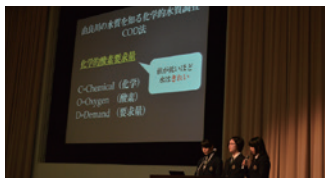


京都府立綾部高等学校

分析化学部

由良川レンジャー緊急出動! 由良川を守れ!

不法投棄などの問題で由良川の水質悪化が心配されている中で、地域への啓蒙活動を行うとともに、定期的なゴミ拾い活動を行ってきた。小学校や幼稚園などへの出前授業も行い、由良川の素晴らしさを訴えている。



清風学園 清風中学校・高等学校

生物部

守ろう、八尾の生態系!! ニッポンバラタナゴとドビ流し

絶滅危惧種のニッポンバラタナゴの保護を通して、地域の生物多様性を保全する活動。上流での森林整備やドビ流し(池干し)を行いながら調査を進めている。現在、ニッポンバラタナゴは約3万尾まで自然再生している。



兵庫県立播磨農業高等学校

畜産科肉畜コース鶏班

ゼロ・エミッションで兵庫を元気に ~播農から始まる新たな物語~

廃棄物として出た醤油粕を鶏のエサとして添加することで卵の品質向上が見られた上に、廃棄処分費、飼料代の削減につながった。現在では竹チップをそのまま飼料として与えたり、酒粕を使った飼料を開発、実験中である。



山陽女子中学校・高等学校

地歴部

瀬戸内海の海底ごみ問題の解決に向けての取り組み

目に見えない海底ゴミを可視化する「見える化」では発生地域、移動経路と時間、深度別堆積量を提示。内陸部から沿岸部にかけて流域を結びつける「つながる化」では海ゴミ展示や生活ゴミを減らすエコクッキングなどを実施した。



徳島県立小松島西高等学校 勝浦校 (徳島県立新野高等学校)

緑のリサイクルソーシャル・エコ・プロジェクト・チーム

緑のリサイクルモデル・刈草堆肥でストップ温暖化!

焼却処分されていた「刈草」を土壤改良剤「もったいない2号」にイノベーションし、緑のカーテンに使用することで、CO2や刈草処分費を削減。今後も地域や小学生などを巻き込んで緑のカーテン運動を広めていく。



愛媛県立宇和島水産高等学校

水産増殖科

ESDの観点による宇和海の環境保全活動

森里海、そして人と人とのつながりをテーマに水産業、環境保全で活躍できる人材育成を目的にさまざまな取組をおこなっている。現在ではESDの観点から環境教育プログラムをNPO法人や大学などと連携して作成中である。



大分県立大分東高等学校

リポベジ研究会

いつでも・だれでも・どこでもできるエコ活動。リポベジ

リポベジとは野菜の切れ端をもう一度食べられる状態に栽培する野菜のこと。切れ端を水につけておくだけで可食部が再生し、ゴミの減量にもつながる。小学校での出前授業やイベントPRを行った結果、県民運動として広がっている。



長崎県立島原農業高等学校

食品加工部

循環型椎茸菌床栽培方法及びバイオエタノールの生成

椎茸の石づきからバイオエタノールを作りだし、さらに発酵残さを椎茸菌床に再利用する技術も開発。3.6tの石づきから250kgのバイオエタノール、発酵残さから1.2tの椎茸生産が見込まれる「循環型椎茸栽培技術」を作りあげた。

